資料３

越谷市地域公共交通計画における取組みの進捗状況（令和２年４月～令和７年３月）

【評価凡例】　○…十分に実施された、△…不十分であった、×…実施されなかった

基本方針	事業項目	実績管理指標								事業の実施状況						事業の評価		
		指標	計画策定時（R2 年度）	実績値（R3 年度）	実績値（R4 年度）	実績値（R5 年度）	実績値（R6 年度）	実績値（R7 年度）	目標値（R8年度）	計画策定時（R2 年度）	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	評価	今後の対応	総括・考察
1 地域の実情に応じた持続可能な交通ネットワークの形成	1−1 バス路線の維持・充実（継続）	路線バス利用者数	22,022	23,812	27,245	28,778	30,209	31,059	増加（目標値なし）	○市内のバス路線の系統数：81系統（廃止1）	○市内のバス路線の系統数：74 系統（廃止 7） ○市内在住の65歳以上を対象とした「越谷市高齢者バス・タクシー共通利用券」を配布	○市内のバス路線の系統数：74 系統（新設、廃止なし） ○バス・タクシー燃料価格高騰対策支援事業 対象：バス6社、タクシー11社、福祉ﾀｸｼｰ 21 社、計 38 社（407台） 支援単価：バス 44,000 円/台、タクシー19,000 円/台 支援総額：1,090 万 8 千円	○市内のバス路線の系統数：75 系統（新設 1） ○燃料費高騰等に伴うバス運賃の改定	○市内のバス路線の系統数：76 系統（廃止 1、新設 2） ○交通状況を踏まえたバス路線の経路の見直し	○市内のバス路線の系統数：76 系統（新設、廃止なし） ○75 歳以上を対象としたキャッシュレスでのバス・タクシー運賃補助を開始 ※R7 年 12 月開始	○	発展	燃料費や運賃の補助等、様々な方策を実施した結果、路線バス利用者数は増加傾向にある。令和7年度に開始した越谷げんき de MaaS を推し進め、更なる利用者の増加を図る。
	1−2 関係者の協働による新たな公共交通の導入に向けた取組み（継続）	乗合交通利用圏域のカバー率	70.50%	70.50%	70.00%	70.00%	70.00%	70.00%	76.50%	○公共交通地区懇談会等の開催回数：4回	○新方地区 デマンド型乗合タクシーによる実証運行の実施 ○新方地区内で公共交通導入検討協議会の開催：5回 ○実証運行に係るアンケート調査の実施	○持続可能な公共交通に関する意見交換会 各地区センターで 4 回開催	○持続可能な公共交通に関する意見交換会の開催（4回×13地区）	○持続可能な公共交通に関する意見交換会及びアンケート調査結果について、13地区において報告会を実施	○75 歳以上を対象としたキャッシュレスでのバス・タクシー運賃補助を開始 ※R7 年 12 月開始	△	発展	関係者との連携による新たな公共交通の導入に向け、新方地区でデマンド型乗合タクシーによる実証運行を実施するとともに、持続可能な公共交通に関する意見交換会等を実施した。 実証運行の結果や、意見交換会等でいただいた意見から、令和7年度よりバス・タクシーの運賃補助を実施している。運賃補助の利用状況等を踏まえ、運賃補助対象や補助額の拡大、新たな公共交通の導入等を検討していく。
	1−3 地域の多様な輸送資源を活用する取組みの検討（新規）	乗合交通利用圏域のカバー率	70.50%	70.50%	70.00%	70.00%	70.00%	70.00%	76.50%	−	−	−	−	○自治会主体の無償運送に関する助言	○自治会主体で無償運送の実証運行を開始	△	継続	自治会より、自治会主体によるバスの運行について相談を受け、市は道路運送法等に基づき助言を行ったところ、令和7年より、自治会主体のマイクロバスによる無償運送が開始された。 引き続き、自治会からの相談を受け付け、必要に応じて助言を行うとともに、運行地域の拡大や助成金等について検討していく。
2　誰もが利用しやすい公共交通環境の整備	2−1 公共交通利用環境の改善（継続）	①バス、タクシー待合環境の改善箇所数 ②バス待ちスポット・まち愛スポットの登録数	①3 ②26	①21 ②0	①3 ②0	①4 ②0	①5 ②0	①1 ②0	増加（目標値なし）	①バス停利用環境の改善箇所数：3箇所（バス 3、タクシー 0） ② ○バスまちスポットの登録施設：19施設　○まち愛スポットの登録施設：7施設	①バス停利用環境の改善箇所数：21箇所（バス 21、タクシー 0） ②新規登録なし	①バス停利用環境の改善箇所数：1箇所（バス 1、タクシー0） ②新規登録なし	①バス停利用環境の改善箇所数：4箇所（バス 2、タクシー2） ②新規登録なし	①バス停利用環境の改善箇所数：5箇所（バス 3、タクシー2） ②新規登録なし	①バス停利用環境の改善箇所数：1箇所（バス 1、タクシー0） ②新規登録なし	○	継続	バス停付近の歩車道境界ブロックの切り下げや、ベンチの設置など、公共交通の利用環境の改善に資する整備工事を毎年1箇所以上行っている。 バスまちスポット、まち愛スポットについては、バス停が近い主要な公共施設は既に登録済であるため、今後は、民間事業者への理解の普及に努める。 ※バス待ちスポット…バス停の近くで、バスを気軽に待つことができる施設（概ね 50m圏内） ※まち愛スポット…バス停まで歩くときに休憩できる施設（概ね 500m圏内）
	2−2 サイクル＆バスライドの推進（継続）	サイクル＆バスライド駐輪場の設置箇所数	9	0	0	0	0	0	増加（目標値なし）	○サイクル＆バスライド駐輪場の整備箇所：9箇所	○新規設置なし	○新規設置なし	○新規設置なし ※乗合交通利用圏域外のバス停整備の検討：2箇所	○新規設置なし ※乗合交通利用圏域外のバス停整備の検討：2箇所	○新規設置なし ※乗合交通利用圏域外のバス利用に向けた駐輪場新設場所の検討	△	継続	サイクル＆バスライド駐輪場は、既存の公共施設等の利用の目的に反しない範囲で、施設の許可を得て設置している。 今後は、公共施設の新築や改築がある場合等に、当該施設に対し、サイクル＆バスライド駐輪場の設置を要望し、設置箇所の拡大に努める。
	2−3 ノンステップバスの導入促進（継続）	ノンステップバスの導入率	90.10%	90.60%	90.00%	98.40%	99.30%	99.30%	増加（目標値なし）	補助実績なし	補助実績なし	補助実績なし	補助実績なし	補助実績なし	補助実績なし	○	継続	平成 12 年度よりノンステップバスを導入するバス事業者に対し補助金を交付している。現時点でノンステップバスでない車両は1台であり、事業者によれば、この車両を入れ替える際は、ノンステップバスを導入するとのことである。

基本方針	事業項目	実績管理指標								事業の実施状況						事業の評価		
		指標	計画策定時（R2 年度）	実績値（R3 年度）	実績値（R4 年度）	実績値（R5 年度）	実績値（R6 年度）	実績値（R7 年度）	目標値（R8年度）	計画策定時（R2 年度）	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	評価	今後の対応	総括・考察
	2－4 鉄道駅のバリアフリー化（継続）	①ホームドアの設置駅数・番線数 ②駅ホーム声かけサポート講習会の開催回数	①0 ②1	①2 ②0	①2 ②1	①0 ②1	①2 ②1	①0 ②1	増加（目標値なし）	○ホームドア設置済駅数：2駅・8線 ・北越谷駅（4 線） ・新越谷駅（4線） ※越谷駅（2・3番線）・蒲生駅を整備中	○ホームドア設置済駅数：2駅・8線 ・北越谷駅（4 線） ・新越谷駅（4線） ※越谷駅（2・3番線）・蒲生駅を整備中	○ホームドア設置済駅数：3駅・10線 ・北越谷駅（4 線） ・新越谷駅（4線） ・越谷駅（2 線） ※越谷駅（1・4 番線）・蒲生駅を整備中	○ホームドア設置済駅数：3駅・10線 ・北越谷駅（4 線） ・新越谷駅（4線） ・越谷駅（2 線） ※越谷駅（1・4 番線）・蒲生駅を整備中	○ホームドア設置済駅数：4 駅・14線 ・北越谷駅（4 線） ・新越谷駅（4線） ・越谷駅（4 線） ・蒲生駅（2 線）	○ホームドア設置済駅数：4 駅・14線 ・北越谷駅（4 線） ・新越谷駅（4線） ・越谷駅（4 線） ・蒲生駅（2 線）	○	継続	市では、鉄道事業者が実施するホームドア整備に対し、「越谷市鉄道駅バリアフリー化設備整備事業補助金交付要綱」に基づき、補助金を交付している。 令和 8 年度時点で未整備である、東日本旅客鉄道の南越谷駅、越谷レイクタウン駅は 2031 年度までに、東武鉄道のせんげん台駅及び大袋駅は、2035 年度までに整備する計画であるとリリースされている。
	2－5 鉄道駅における乗り継ぎ円滑化（継続）	交通結節点での機能強化整備箇所数	0	3	4	4	0	2	増加（目標値なし）	○鉄道駅改札付近へのダイヤ等案内板の設置箇所：0箇所	○整備箇所数：3箇所 （北越谷駅） ・駅構内自由通路内 バス・タクシー乗換案内設置（2箇所） ・駅西口案内図設置（1 箇所）	○整備箇所数：4箇所 （越谷駅） ・駅構内自由通路内 バス・タクシー乗換案内設置（2箇所） ・駅東口・西口案内図設置：各 1 箇所	○整備箇所数：4箇所 （せんげん台駅） ・駅東口・西口バス・タクシー乗り場および主な行先案内表示（各1箇所） ・駅東口・西口 英語表記を追加したバス・タクシー乗場案内設置（各 1 箇所）	整備箇所なし	○整備箇所数：2箇所 （越谷レイクタウン駅） ・駅北口・南口 英語表記を追加したバス・タクシー乗場案内設置（各 1 箇所）	○	継続	利用者にとって、路線バスやタクシー乗り場の位置等の表示が有効と考えられる鉄道駅付近に、案内板等を設置している。令和3年度から7年度において、必要と思われる4駅について案内板等の設置を行った。今後は、他の駅への設置の検討や、既存案内版の更新等を行っていく。
2　誰もが利用しやすい公共交通環境の整備	2－6 新たなモビリティサービスの検討（新規）	検討事項なので設定しない	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	○MaaS 検討のため、新モビリティサービス協議会の設置に向けたヒアリング実施	○越谷市新モビリティサービス協議会の設置（R6.6.28） ※基本計画等についての協議を3回開催	○「越谷げんき de MaaS」の導入	○	継続	令和7年度に、経路検索機能、高齢者運賃割引機能及びシェアサイクルサービスとの連携機能等を有した越谷げんき deMaaS を運用開始した。 今後は、本サービスを引き続き運用するとともに、機能拡張や運賃補助の補助額、対象者の拡大等の検討を行っていく。
	2－7 バスロケーションシステムの導入促進（新規）	バスロケーションシステムの導入取組み数	0	0	1	0	0	1	※全社導入済	○3 社導入済み ・朝日自動車 ・国際興業バス ・東武バスセントラル	―	○茨城急行自動車がバスロケーションシステムを導入	○MaaS 検討のため、新モビリティサービス協議会の設置に向けたヒアリング実施	○越谷市新モビリティサービス協議会の設置（R6.6.28） ※基本計画等についての協議を3回開催	○1社新規導入（ジャパンタローズ）	○	廃止	令和7年度に1社が新規導入し、越谷市内に路線を持つバス事業者全社がバスロケーションシステムを導入した。
	2－8 交通系 IC カードの導入促進（新規）	交通系 IC カードの導入取組み数（事業者数）	0	0	0	0	0	1	※全社導入済	○バス事業者 4 社導入済み ・朝日自動車 ・茨城急行自動車 ・国際興業バス ・東武バスセントラル	―	―	○MaaS 検討のため、新モビリティサービス協議会の設置に向けたヒアリング実施	○越谷市新モビリティサービス協議会の設置（R6.6.28） ※基本計画等についての協議を3回開催	○1社新規導入（ジャパンタローズ）	○	廃止	令和7年度に1社が新規導入し、越谷市内で路線バスを運行するバス事業者全社が交通系 IC カード対応となった。
3 「みんなで公共交通に乗って、守り、育てる」意識の醸成	3－1 モビリティ・マネジメント（継続）	モビリティ・マネジメントに係るイベントの開催数	0	0	1	1	2	1	増加（目標値なし）	○公共交通関連講座等の実施回数 ：0回	○公共交通関連講座等の実施回数 ：0 回	○バスのバリアフリー・乗り方教室を開催（1回）	○バスのバリアフリー教室を開催（1 回）	○バスの乗り方教室を開催（2回） ※公共交通担い手確保フェアにおいて実施	○バスの乗り方教室を開催（1回） ※公共交通担い手確保フェアにおいて実施	○	継続	令和 6 年度より、松伏町と合同で、県営まつぶし緑の丘公園等において、公共交通担い手確保フェアを開催しており、毎回100 名以上が来場している。 今後も合同での実施を予定しており、引き続きバスの乗り方教室等の開催により、公共交通の利用促進等を図る。
	3－2 公共交通に関する情報案内の充実（継続）	こしがや公共交通ガイドマップの配布先箇所数・配布枚数	10,000	12,000	8,400	11,000	10,055	9,840	増加（目標値なし）	○こしがや公共交通ガイドマップの作成 ：10, 500部	○こしがや公共交通ガイドマップの作成 ：12, 000 部	○こしがや公共交通ガイドマップの作成 ：12, 000 部	○こしがや公共交通ガイドマップの作成 ：12, 000 部	○こしがや公共交通ガイドマップの作成 ：12, 000 部	○こしがや公共交通ガイドマップの作成 ：12, 000 部	○	継続	毎年、変更のあったバス停・施設名等の更新や、公共交通に関する情報記事の見直し等を行い、最新の情報を掲載した。
	3－3 バス・タクシー運転者の確保・育成（新規）	バス・タクシー運転者の増加に結び付く取組みの数	0	0	1	3	2	2	増加（目標値なし）	―	―	○バスのバリアフリー・乗り方教室を開催（1回）	○バスのバリアフリー教室を開催（1 回） ○公共交通担い手確保フェアを開催（2回）	○バスの乗り方教室を開催（1回） ○公共交通担い手確保フェアを開催（2回）	○バスの乗り方教室を開催（1回） ○公共交通担い手確保フェアを開催（2回）	○	継続	令和5年度より、松伏町と合同で、バス・タクシーの運転士の確保・育成を目的に開催している。実際に交通事業者への就職に繋がったケースもあるため、今後も継続していく。
	3－4 シルバーサポーター制度の導入促進（新規）	シルバーサポーター制度の協賛事業者数	0	0	0	0	0	0	増加（目標値なし）	○導入済み事業者 松伏交通（有）、鳩交通（有） ・こしがや公共交通ガイドマップに、導入事業者を掲載した	○導入済み事業者 松伏交通（有）、鳩交通（有） ・こしがや公共交通ガイドマップに、導入事業者を掲載した	○導入済み事業者 松伏交通（有）、鳩交通（有） ・こしがや公共交通ガイドマップに、導入事業者を掲載した	○導入済み事業者 松伏交通（有）、鳩交通（有） ・こしがや公共交通ガイドマップに、導入事業者を掲載した	○導入済み事業者 松伏交通（有）、鳩交通（有） ・こしがや公共交通ガイドマップに、導入事業者を掲載した	○導入済み事業者 松伏交通（有）、鳩交通（有） ・こしがや公共交通ガイドマップに、導入事業者を掲載した	△	廃止	埼玉県の事業として、埼玉県警察にて周知を行なっているが、近年は導入事業者の増加がなかった。